

令和5年度事業報告書

はじめに

生乳の需給緩和の状況は依然続く中、資材価格の高騰等により酪農乳業全体が大変厳しい経営環境にあります。このような中で酪農乳業に携わる方々の様々なご要望に的確にお応えできるよう、令和5年3月22日開催の第34回理事会で承認された事業計画に沿って、財政の健全化と信頼性・サービス向上の両立に努めつつ、事業を実施しました。

乳・乳製品にこだわった試験検査機関として引き継がれ培われてきた技術やノウハウ等を最大限に活かしつつ、食品衛生法に基づく登録検査機関、ISO/IEC17025 認定試験所として、新たな分野も含めてより一層の研鑽を積んで、信頼の確保に努めました。

大幅に減少した業務量の回復はみられたものの厳しい状況が続きましたが、新たな業務にも積極的に取り組み、酪農乳業界みなさまの試験検査機関としての役割を果たせるように努めました。

各事業の概要は、以下のとおりです。

〔公益目的事業〕

1 法令に基づく検査・認定

(1)食品衛生法に基づく試験検査

食品衛生法に基づく登録検査機関として、輸入乳製品の食品衛生関連法令に基づく試験検査を実施しました。

- ・輸入乳製品の自主検査（脱脂粉乳、バター、ホエイパウダー等）
60 検体 （4年度 59 検体、3年度 77 検体、2年度 89 検体）

(2) HACCP 支援法に関する認定

食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法（HACCP 支援法）に基づく指定認定機関として、乳業者及び 6 次産業化に取り組む酪農家への情報提供、相談受付等を実施しました。本法は令和 5 年 6 月 30 日をもって失効しましたが、食品衛生法に基づく HACCP に沿った衛生管理に取り組む乳業者や、酪農家を支援するため、関連情報の提供、相談対応等を実施しました。認定実績はありませんでした。

乳業団体が開催する HACCP 実務者講習会のテキスト作成、講師として参画しました。

- ・高度化計画の認定：0 件
- ・高度化基盤整備計画の認定：0 件（4 年度 0 件、3 年度 0 件、2 年度 0 件）
- ・相談対応：HACCP の考え方、取り組み方策等の質問、相談を受けましたが、計画認定につながる相談はありませんでした。

(3) 指定乳製品等検査

食品衛生法に基づく登録検査機関として、畜産物の価格安定等に関する法律施行規則等に基づき、輸入乳製品の品質検査を実施しました。依頼者の要請に的確に応えられるよう、サンプリング、検査の計画を立てて実施しました。国内の生乳需給の緩和により、輸入量はカレントアクセス分のみでした。

単位：検体

種類	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
バター	2,218	1,773	1,762	2,656
脱脂粉乳	194	23	62	226
ホエイ及び調製ホエイ	184	249	319	340
デイリースプレッド	0	0	0	0
バターオイル	52	64	51	47
加糖練乳	0	0	0	0
計	2,648	2,109	2,194	3,269

2 依頼による試験・調査

(1) 依頼による食品等の理化学的、微生物学的試験

食品衛生法に基づく登録検査機関、ISO/IEC17025 認定試験所として、試験を受託して実施しました。

- ・受託品目：飲用乳、アイスクリーム類、調製粉乳、発酵乳、練乳、チーズ、脱脂粉乳、飼料用粉乳、その他食品等

・試験項目：理化学

乳脂肪分、無脂乳固形分、たんぱく質、灰分、放射能、
金属（Na、Ca）、溶解度、スコーチドパーティクル等
微生物

細菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、リステリア、高温菌数等

・検体数：2,718 検体

（4年度：3,210 検体、3年度：2,479 検体、2年度：2,484 検体）

うち、放射能検査：230 検体

（4年度 211 検体、3年度：253 検体、2年度：271 検体）

(2)依頼による調査

① 全国飲用牛乳公正取引協議会の依頼による調査

全国飲用牛乳公正取引協議会の依頼を受け、全国飲用牛乳公正取引協議会製品等検査規程に基づき市販品成分検査と認定検査機関実務調査を実施しました。市販品成分検査（乳飲料を除く）については試験結果の判定まで実施し、定期成分検査（受託数は2の（1）の内数：200 検体）については合否判定まで実施しました。

市販品成分検査

単位：検体

種類	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
牛乳	197	174	218	189
加工乳	16	20	12	22
乳飲料	151	188	162	177
成分調整牛乳他	42	35	32	29
計	406	417	424	417

認定検査機関実務調査については、新型コロナウイルス感染予防の観点による書面調査の実施依頼はなく、すべて現地調査で対応しました。

・認定検査機関の実務調査：25 施設（うち新規 1 施設）

（4年度：29 施設、3年度：24 施設、2年度：27 施設）

②生乳と乳製品の競争力強化支援事業のうち 6次化乳製品の衛生管理支援事業

(公財)全国競馬・畜産振興会助成(令和3～5年度)

6次化乳製品の製造・販売により経営安定を目指す酪農家に、HACCPへの適切な対応や6次化乳製品の安全性、品質、信頼の向上のための技術的な支援を行いました。

衛生管理計画、HACCPプラン策定・検証のために必要な製造工程に沿った衛生検査と殺菌工程検証のための衛生検査、製品の安全性、品質安定・向上のために必要な検査を実施し、これらの結果に基づくアドバイス、研修会、情報提供等を実施しました。

学識経験者等からなる推進委員会(5月開催)における具体的な進め方等の検討後、10戸の酪農家を対象に、生乳の殺菌工程前後の微生物検査(126件)、工房の環境検査(10工房×2回)、衛生管理研修会(2回開催、延べ21人が参加)を実施しました。また、参加酪農家の乳製品80検体及び生乳20検体について成分、微生物検査等を実施し、検査結果等をHACCP対応のための参考資料として取りまとめ、協会HPに掲載しました。

3月の推進委員会において、事業実施期間の大半をコロナ禍の非常に限られた状況の中で遂行し、目標を達成したことが高く評価されました。

③飼養管理指標検査普及推進事業

地方競馬全国協会補助(令和5～7年度)

適正な生乳取引に必要な生乳検査の精度管理及び乳牛の飼養管理指標(脂肪酸組成)検査の精度管理を図るため、ア及びイを実施しました。

ア. 飼養管理の指標として活用され始めている生乳中の脂肪酸組成及び遊離脂肪酸の検査の精度管理に必要な校正用試料乳(校正乳)の提供体制を整え、精度管理の手法について検討し、脂肪酸組成に関する検査技術者連絡会を12月4日に、普及のための研修会(講演2題:「北海道における脂肪酸組成の活用」、「脂肪酸組成の利用について～大山での取り組み」)を3月4日に開催しました。

イ. 生乳検査所における生乳検査の精度管理に必要な校正乳の定期的提供を続けられるよう、適切な原料生乳を安定的に調達できる手法を確立するための調査・検討を行いました。

3 研修会の開催・講師派遣

【協会主催の研修会】

生乳や乳製品の検査を行う技術者を対象とした実技中心の研修会は、計6回、感染症予防対策を徹底して対面形式で開催し、参加者は合計40名(4年度23名、3年度9名)でした。研修生のご要望等に的確にお応えできるよう、講義内容、資料、実習用器材等について工夫、改善を加えながら実施しました。

官能評価員研修会は、乳・乳製品の官能評価体制強化支援事業((公財)全国競馬・畜産振興会助成(令和5～7年度))を活用して開催しました。基礎研修会を5回、専門研修会を1回、集乳担当者向け基礎研修会をオンライン形式で5回、酪農家向け研修会を対面で1回開催しました。

開催実績

研修会の名称、内容等	期間・回数	参加者
生乳検査技術研修会 実技:乳脂肪分、たんぱく質 乳固形分、比重、 体細胞数、抗生物質 講義等:生乳検査精度管理に 関する講義、認証制 度の説明	5月15日～17日	8人
	7月10日～12日	8人
	10月2日～4日	9人
	1月24日～26日	7人
	2月19日～21日	7人
	計5回 (4年度 5回 3年度 4回)	計39人 (3年度 22人 2年度 7人)
乳糖検査技術研修会 実技:レイン・エイノン法	8月24日～25日	1人
	11月6日～7日	0人
	計1回 (4年度 1回 3年度 2回)	計1人 (4年度 1人 3年度 2人)
官能評価員育成 基礎研修会 研修会	7月5日	25人
	9月7日	36人
	10月13日	26人
	10月18日	24人
	3月13日	17人
	専門研修会 12月14日～15日	16人
	計6回 (4年度 7回 3年度 2回)	計144人 (4年度 76人 3年度 23人)
集乳担当者向け 基礎研修会	オンライン 5回 (4年度 オンライン5回 3年度 オンライン8回 対面 1回 ハイブリッド3回)	130人 (4年度 オンライン195人 3年度 オンライン104人 対面 13人 ハイブリッド14人)
酪農家向け基礎 研修会	2月8日	17人

【乳業関係団体等の依頼による研修会】

全国飲用牛乳公正取引協議会、一般社団法人日本アイスクリーム協会、一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会等の依頼を受け、検査技術研修会 9 回(4 年度 12 回、3 年度 7 回)、アイスクリーム検査技術研修会 2 回(4 年度 2 回、3 年度 1 回)、微生物検査研修会 1 回(4 年度 1 回、3 年度 0 回)、酸・アンモニア分解法研修会 1 回(初開催)および直接灰化法研修会 1 回(初開催)の合計 14 回実施し、参加者は合計 115 名(4 年度 89 名 3 年度 39 名)でした。

開催実績

研修会の名称、内容等	期間・回数	参加者
全国飲用牛乳公正取引協議会 検査技術研修会 ・分析基礎コース 実技：乳脂肪分、たんぱく質、 乳固形分（全固形分） 比重、滴定酸度 講義等：精度管理に関する講義 ・細菌検査コース 実技：細菌数、大腸菌群、 低温菌数、 耐熱性菌数、体細胞数、 抗生物質 講義等：精度管理に関する講義 ・合併コース 実技：分析基礎コース、細菌検査コースの合併	5月22日～5月26日 合併コース	8人
	5月31日～6月2日 分析基礎コース 細菌検査コース	7人 6人
	6月19日～6月23日 合併コース	8人
	6月26日～6月30日 合併コース	8人
	7月26日～7月28日 分析基礎コース 細菌検査コース	中止
	8月28日～9月1日 合併コース	8人
	9月27日～9月29日 分析基礎コース 細菌検査コース	7人 5人
	10月23日～10月27日 合併コース	9人
	11月13日～11月17日 合併コース	8人
	11月27日～12月1日 合併コース	8人
	計9回 〔 4年度 12回 〕 〔 3年度 7回 〕	計82人 〔 4年度 62人 〕 〔 3年度 31人 〕

一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会 微生物検査研修会 実技：一般細菌数、乳酸菌数、 ビフィズス菌数、大腸菌群 講義：発酵乳・乳酸菌飲料における微生物学の基礎と検査方法	11月1日～11月2日 (4年度 1回 3年度 0回)	17人 (4年度 10人 3年度 0人)
一般社団法人日本アイスクリーム協会 アイスクリーム検査技術研修会 ・理化学コース 実技：乳脂肪分、たんぱく質、 全固形分 ・微生物コース 実技：細菌数、大腸菌群、黄色 ブドウ球菌、抗生物質	12月11日～13日 理化学コース 微生物コース	2人 5人
	2月13日～15日 理化学コース 微生物コース	1人 4人
	計2回 (4年度 2回 3年度 1回)	計12人 (4年度 15人 3年度 8人)
(随時研修) 直接灰化法研修会 実技：直接灰化法	9月22日	2人
酸・アンモニア分解法研修会 実技：酸・アンモニア分解法	10月6日	2人

【講師派遣】

乳業団体等の依頼を受け、のべ10名(4年度 13名、3年度 5名)の講師等を派遣しました。

派遣実績

研修会の主催者、内容等	期間	場所
東京飲用牛乳協会 牛乳衛生講習会	7月6日	東京都 千代田区
一般財団法人蔵王酪農センター ナチュラルチーズ製造技術(専門・基礎)研修会 「安全なチーズを生産していただくために」	7月18日	宮城県 蔵王町
	9月29日	
	11月28日	
	1月23日	
流通企業 生乳検査研修会	8月25日	岩手県 胆沢郡

一般社団法人 日本乳業協会 牛乳衛生講習会	10月26日 10月27日	福岡県 博多区
一般社団法人 日本乳業協会 製造管理者講習会	11月28日	東京都 千代田区
関東生乳販売農業協同組合連合会 CS 職員等研修会	3月27日	東京都 千代田区

全国農協乳業協会の依頼を受け、「乳業製造技術通信教育」の「牛乳・乳製品検査法」の講師を担当し、テキストの改訂、レポートの課題作成、添削、採点等を行いました。

一般社団法人 全国発酵乳乳酸菌飲料協会の依頼を受け、食品衛生管理に関する e ラーニングシステムの新コンテンツ「発酵乳・乳酸菌飲料の微生物検査法」の作成に協力しました。

一般社団法人 Jミルクの依頼を受け、土日ミルクフェス(11月3日 東京都江東区)の官能評価体験ブースにアドバイザーとして参加しました。

4 研究・技術・調査情報の提供等

(1) 乳業技術誌の刊行

Vol.72 2022 を刊行し、関係行政機関、酪農乳業団体・企業、関係大学他約 200 施設に配布しました。

編集委員(◎編集委員長)

- ◎松田 幹 福島大学 農学群 食農学類 教授
- 小林 敏也 雪印メグミルク株式会社 執行役員 ミルクサイエンス研究所長
- 齋藤 忠夫 東北大学 名誉教授
- 佐藤 祐幸 株式会社明治 技術研究所 研究所長
- 武田 安弘 森永乳業株式会社 執行役員 研究本部副本部長
- 服部 博幸 協同乳業株式会社 研究所長
- 藤川 浩 東京農工大学 名誉教授
- 辻山 弥生 公益財団法人日本乳業技術協会 業務執行理事

総説・解説

SDGs と酪農/メタンガス抑制の取り組み(寺田文博)

ミニマムヒーティング(交流高電界、高周波パルス)による液体食品の高品質殺菌技術(植村邦彦)

新アミノ酸指標 DIAAS によるたんぱく質の再評価と動物性食品の生産に伴う環境負荷の再考(齋藤忠夫)

腸内細菌と脳腸相関～精神疾患との関連と、ビフィズス菌 *Bifidobacterium breve* MCC1274 による認知機能改善作用の可能性～(大野和也、清水(肖)金忠)

読者からの話題提供

牛乳・乳飲料の HACCP 手引書の改訂 Ver.3.0(滝本 浩司)

乳技協だより

全国集乳路線別生乳成分調査から見る生乳成分の推移について(その2:2020年まで)(丸田陽洋)

検査技術研修会での質問から(山口 千里)

Vol.73 2023 の刊行について、編集委員会における検討を経て、原稿の執筆依頼、編集作業を実施しました。

(2)全国集乳路線別生乳成分調査

全国の生乳成分(乳脂肪分(F)、無脂乳固形分(SNF))の調査を昭和50年以降継続して実施しており、乳業各社のご協力を得て「全国集乳路線別生乳成分調査第49報」を取りまとめ、協会HPに公表しました。

令和5年1月～12月の調査延べ路線数は、工場到着ローリー乳で7,845(令和4年7,911、令和3年7,771)、全生乳生産量(1日あたり)に対する調査対象乳量のカバー率は42.4%(令和4年41.8%、令和3年40.7%)でした。

協力会社名(50音順)

協同乳業株式会社

グリコマニューファクチャリングジャパン株式会社

信州ミルクランド株式会社

北陸酪農業協同組合連合会

株式会社明治

森永乳業株式会社

雪印メグミルク株式会社

よつ葉乳業株式会社

F, SNFの地域別平均値

単位:%

地域	F	SNF	地域	F	SNF
北海道	4.007	8.822	近畿	3.916	8.837
東北	3.915	8.719	中国	4.027	8.924
関東・東山	3.918	8.789	四国	3.920	8.852
北陸	3.909	8.788	九州	3.969	8.811
東海	3.839	8.816			
			全国平均	3.991	8.818
			〔 令和4年	3.992	8.830
			令和3年	3.938	8.827

(3)技術関連情報の提供

乳・乳製品の試験検査の手技・手法、品質管理や表示のための試験法、分析値の活用法等に関する乳業者、乳業団体、公的機関の試験検査担当者、6次産業化に取り組む酪農家、流通業者等からの幅広い問い合わせに対応しました。

協会ホームページに、生乳検査精度管理に関する情報、乳業技術 Vol.72 2022、生乳検査精度管理に関する情報、試験検査に関連する情報及び、オンラインで実施した講演の動画等を掲載しました。

(4)関係機関、関係団体との連携

関係機関、関係団体の会議、委員会等に出席(リモート、書面を含む。)し、情報の収集や意見交換等を行いました。

団 体 等	会合名、内容等
全国飲用牛乳公正取引協議会	常任委員会、専門部会、専門小委員会
(一社)日本乳業協会	定時社員総会、HACCP 検討小委員会
(一社)日本乳容器・機器協会	理事会
チーズ公正取引協議会	常任委員会、技術小委員会
(公社)畜産技術協会	総会、理事会、監事監査
(公社)中央畜産会	定時総会
東京飲用牛乳協会	品質改善委員会
関東生乳販売農業協同組合連合会	生乳品質改善共励会(代表理事賞)
JAPAN ナチュラルチーズコンテスト	後援
食品衛生登録検査機関協会	総会
全国農協乳業協会	「乳業製造技術者通信教育」講師検討会議
(一社)Jミルク	定時総会、ISO/TC34/SC5 国内審議委員会他
(一社)日本チーズ協会	認証基準策定委員会

(5)研究成果の発表

乳業技術 Vol.72「乳技協だより」に、「全国集乳路線別生乳成分調査から見る生乳成分の推移について(その2:2020年まで)」、「検査技術研修会での質問から」を掲載しました。

第119回日本食品衛生学会学術講演会において「国際整合を踏まえた乳等省令分析法の見直しに向けた粉乳製品における水分分析法の構築並びに試験室間共同実験による妥当性確認」をポスター発表しました(共同研究者)。

5 生乳検査精度管理

生乳検査精度を高い水準で維持することの重要性に鑑み、引き続き、測定機器校正のための試料乳(乳成分用、体細胞数用)の配布、生乳検査外部精度管理調査(技能試験)及び生乳検査精度管理認証制度の業務を実施しました。

(1)測定機器校正のための試料乳の配布

乳成分用試料乳配布数 2648 セット

(4年度 2,669 セット、3年度 2,719 セット、2年度 2,756 セット)

体細胞数用試料乳配布数 370 セット

(4年度 392 セット 3年度 397 セット、2年度 406 セット)

配布に併せ、キャリブレーション参考資料を協会 HP に毎月掲載しました。

(2)生乳検査外部精度管理調査

参加施設 104 施設 (4年度 105 施設、3年度 107 施設、2年度 109 施設)

参加施設名を協会 HP に掲載して公表するとともに、「参加証」を引き続き発行しました。

(3)生乳検査精度管理認証制度

生乳と乳製品の競争力強化支援事業の生乳検査精度管理認証制度事業((公財)全国競馬・畜産振興会助成(令和3~5年度))を活用して次のように実施しました。

- ・ 認証申請施設の書類調査・現地調査を、更新8施設について実施し、生乳検査精度管理認証特別委員会(9月、3月)の審議・答申を受けて、10月1日付けで6施設(更新6)を認証しました。(更新2施設は次年度認証)
- ・ 生乳検査精度管理委員会を開催(3月)し、事業の実施状況について報告しました。
- ・ 生乳検査技術者連絡会を開催(11月)し、「乳牛栄養における粗飼料の重要性とそれらを主体とした効率的乳生産技術」及び「酪農家飼養環境と乳成分との関連について」の講演を実施しました。
- ・ 信頼性確保部門責任者研修会(3月)をオンデマンド開催し、認証制度の運用関連の説明を実施しました。

6 国際酪農連盟日本国内委員会

微生物・衛生専門分科会(9月、2月)、分析技術・衛生専門分科会(9月)、国際規格専門分科会(8月、1月)、ISO/TC34/SC5(牛乳及び乳製品)国内審議委員会(6月、3月)に参画しました。

〔収益事業等〕

所有する土地建物の貸借業務を民間事業者へ委託して実施し、その運用益を公益目的事業に充当しました。

〔 報 告 事 項 〕

1. 庶務事項

令和 5 年 4 月 10 日	令和5年度畜産振興補助事業選定申請書提出 (地方競馬全国協会)
令和 5 年 4 月 20 日 ～ 21 日	公認会計士 指導・監査
令和 5 年 4 月 25 日	令和4年度日本中央競馬会畜産振興事業実績報告書 提出((公財)全国競馬・畜産振興会)
令和 5 年 4 月 26 日	令和5年度日本中央競馬会畜産振興事業実施計画の 承認申請書提出((公財)全国競馬・畜産振興会)
令和 5 年 5 月 10 日	監事監査
令和 5 年 5 月 17 日	第35回理事会
令和 5 年 5 月 29 日	令和4年度畜産振興補助事業完了報告書提出 (地方競馬全国協会)
令和 5 年 5 月 25 日	消費税申告(麴町税務署)
令和 5 年 5 月 31 日	消費税納付(麴町税務署) 法人税等納付(麴町税務署他)
令和 5 年 6 月 22 日	第18回評議員会、第36回理事会
令和 5 年 6 月 23 日	令和4年度HACCP手法支援法指定認定機関事業報告書 及び収支決算書提出(厚生労働省・農林水産省)
令和 5 年 6 月 28 日	法人税等確定申告(麴町税務署他)
令和 5 年 6 月 28 日	令和4年度事業報告書等に係る定期書類提出 (内閣府公益認定等委員会)
令和 5 年 7 月 1 日	社会保険算定基礎届完了
令和 5 年 7 月 10 日	労働保険料確定申告書提出(東京労働基準局)
令和 5 年 8 月 4 日	令和4年度畜産振興補助事業監査(地方競馬全国協会)
令和 5 年 9 月 13 日	食品衛生法登録検査機関の定期立入検査・登録更新 (厚生労働省関東信越厚生局)
令和 5 年 12 月 11 日	令和6年度日本中央競馬会畜産振興事業応募 (日本中央競馬会)
令和 5 年 12 月 19 日	ISO認定試験所の更新審査((公財)日本適合性認定協会)
令和 6 年 1 月 9 日	乳業諸団体新年賀詞交換会
令和 6 年 1 月 15 日	償却資産申告書提出(千代田都税事務所)
令和 6 年 1 月 26 日	令和6年度日本中央競馬会畜産振興事業実施計画の 承認申請書提出((公財)全国競馬・畜産振興会)
令和 6 年 2 月 9 日	令和6年度畜産振興補助事業応募(地方競馬全国協会)
令和 6 年 3 月 6 日	第37回理事会
令和 6 年 3 月 22 日	第19回評議員会
令和 6 年 3 月 25 日	令和6年度事業計画書等に係る定期書類提出 (内閣府公益認定等委員会)
令和 6 年 3 月 31 日	事業年度終了

2. 会 議

第35回 理事会(令和5年5月17日)

- 1) 令和4年度事業報告及び計算書類等の承認について
- 2) 評議員会の日時、場所及び付議すべき事項の決定について
- 3) 退任慰労金の件
- 4) 事業の執行状況報告

第18回 評議員会(令和5年6月22日)

- 1) 令和4年度事業報告及び計算書類等の承認について
- 2) 評議員、監事及び理事の選任について
- 3) 令和5年度事業計画及び収支予算書等の報告

第36回 理事会(令和5年6月22日)

- 1) 役付き理事の互選について

第37回 理事会(令和6年3月6日)

- 1) 令和6年度事業計画及び収支予算書等の承認について
- 2) 特定費用準備資金取崩しの件
- 3) 評議員会の日時、場所及び付議すべき事項の決定について
- 4) 事業の執行状況報告

第19回 評議員会(令和6年3月22日)

- 1) 評議員及び監事の選任について

3. 役 員

令和5年6月22日

下記の役員に関し、第18回評議員会で選任。

再任 監 事 佐藤 靖

〃 理 事 阿久澤 良造、井上 剛彦、小久保彌太郎、
松田 幹、柳田 恭彦

就任 理 事 小林 一郎、原田 裕司、姫田 尚

退任 理 事 安部 俊朗、栗本 まさ子

令和5年6月22日

下記の役員に関し、第36回理事会で代表理事を選定。

代表理事 姫田 尚

令和6年3月22日

下記の役員に関し、第19回評議員会で選任。

就任 監 事 竹原 一明

退任 監 事 保井 久子

令和6年3月31日現在

代表理事 姫田 尚
業務執行理事 辻山 弥生
理事 阿久澤 良造、井上 剛彦、小久保 彌太郎、小林 一郎、
佐藤 雅幸、高橋 勉、原田 裕司、松田 幹、柳田 恭彦
監事 佐藤 靖、竹原 一明

4. 評 議 員

令和5年6月22日

下記の評議員に関し、第18回評議員会で選任。

再任 評議員 小菅 英夫、後藤 正純、松田 克也

令和6年3月22日

下記の評議員に関し、第19回評議員会で選任。

就任 評議員 清水 隆司、宮崎 幹生

退任 評議員 荒川 宏行、後藤 正純

令和6年3月31日現在

五十君 静信、浦島 匡、大貫 陽一、菊池 淳志、桑崎 俊昭、
小菅 英夫、齋藤 忠夫、酒井 健夫、佐藤 雅俊、島崎 敬一、
清水 隆司、清水 誠、沼田 一政、畑江 敬子、松田 克也、
三浦 晃一、水町 功子、宮崎 幹生

5. 職員等の異動

期首人員	20 名
採用者	0 名
退職者	0 名
期末人員	20 名

令和5年度事業報告 附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年5月

公益財団法人日本乳業技術協会